

2011年  
1月15日発行  
第51号

# 北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町1-4-9 山本ビル207号 TEL 921-0747 FAX 921-0284  
ホームページアドレス [http://www.geocities.jp/k\\_roren/](http://www.geocities.jp/k_roren/) Eメールアドレス [k\\_roren@ybb.ne.jp](mailto:k_roren@ybb.ne.jp)



## どど〜ん♪どど〜ん！ 新春旗びらき盛大に開催 市長選 知事選 春闘を一体に闘おう

北九州地区労連の2011年新春旗びらきが1月7日 小倉北区リーセントホテルで行われました。オープニングは北九州のうたごえ合唱団です。新春の夜明けを告げるように闘いの歌が始まりました。開会挨拶・司会進行は健和会労組書記長八木和也さんが若々しく、元気に進めました。中山議長の主催者挨拶、

来賓挨拶は梅野県労連議長、真島日本共産党県会議員、みわ市長候補、県知事候補発表直前の田村貴昭さんなどがされました。

乾杯の前に、和太鼓・夢限太鼓のドド〜ン、ドド〜ンと腹の底に響く、力強い勇壮な演奏が参加者に新春の新たな闘いへの決意を起こさせました。乾杯の音頭は水流彰春闘共闘・国労北九州地区本部



書記長がおこない、歓談に入りました。引き続き和太鼓演奏がおこなわれ、参加者の気持ちを盛り上げてくれました。二部の司会進行は西村事務局長がおこないました。北九争議団共闘議長嶋さんの紹介で国労、定温、自由ヶ丘、新栄会が決意表明しました。加盟組織や友誼組織の代表からそれぞれ新年に当たつての決意が述べられました。終わりは、北九州のうたごえの山本さんの指揮で「がんばろう」を合唱したあと、団結ガンバロウを唱和して閉会しました。

### 雨上がり

2011年が始まりました。期待と希望を込めて新年を迎えたいと思いませんか？

市長候補のみわさん、なんとも威勢のいい迫力のある人ですね。

講義も演説の時のように「バクハツダー」の話し方でしようか？

知事候補は、田村貴昭さんに決まりました。

一段と話にみぎさがかかり人を引き込む力があると思いませんか。

二人の候補者共に気さくでインパクトがあり、トップに立つべきふさわしい力を持っていますね。

県や市も住民を置き去りにした政治が続いています。

景気な時こそ地方が大事。

を注いでいくべきが、それを支える議作るために県会議挙も一人でも多く員をと思えます。

と市で共に勝つ。期希望を込めた新し明けにする事がでか、私たちの頑張りです。

もに頑張りましょ

## みわ市長候補と心を一つに闘おう

スライドで北九州市政の問題点、国政からも小池さんが指摘みわさんと要求・政策トーク さあ元氣もらいました。

1月10日、ソレイユホールで「みんなの声をあつめるつどい」が開かれました。成人の日、駅伝なども重なりましたが、小雨降る中、1370人の人が参加しました。

「つどい」は初めに北九州市政の問題点をスライドで明らかにしました。そのあと小池 晃日本共産党政策委員が国政から見た市政などの問題点を解りやすく話されました。

### 労働者総決起集会

最後に5人の代表がステージに上がり、みわさんへの要求や期待を各自が述べ、みわさんが一つ一つ応え、最後に決意表明をおこないました。

北九州地区労連を始め党派を超えて19日には労働者市長選勝利へ向けて労働者総決起集会を開きます。皆さんの積極的な参加をお願いします。



## あの～くみあいから 12

### 自治労連北九州市職員労働組合

市職労は、市役所で働くすべての職員・非正規職員の組織への加入ができる労働組合として結成以来奮闘しています。市役所の仕事は、ゆりかごから墓場までと言われるように、病院・保育所・学校・区役所・環境事務所・水道・斎場などの市民生活に関わる全ての仕事に関係する職場に組合員がいます。

谷、末吉、そして北橋市政によって、市民サービス切り捨て、職員と人件費の削減のための人員削減、委託化、指定管理者制度導入を推進、機構改革や事務の「見直し」のための「北九州市経営改革大綱」による門司病院の指定管理者制度導入、区役所税務組織の集約による市税事務所設置などで具体化されました。また、若松病院の民間委譲、保育所や給食の民間委託が保護者や住民の不安や反対の声を押し切って進められています。

いま、人員不足による市民サービスの低下を食い止めるためにも、8,000人体制の見直しを求めてたたかいをすすめています。

職員が健康で働きつづけられる職場づくり、市民が安心して暮らせる市政を目指して2月6日投票の市長選挙では三輪俊和市長誕生への運動を現在最優先課題として取り組んでいます。

昨年12月29日の年末出勤職場への激励あいさつには三輪さんにも同行してもらいました。その中で、斎場職場でのあいさつでは、三輪さんが年末年始も市民のために頑張る職員を見て、目頭を熱くしてあいさつした三輪さんに、職場の仲間も役員も感動して、なんとしても一人ひとりの職員、職場を大事にする市長を誕生させるために、組織をあげて奮闘中です。

### 小倉新栄会事件

平成20年1月31日に小倉新栄会側より、契約期間満了、清水診療所の閉鎖を理由に雇い止め(解雇)の通知を受け、地位確認を求めて同年6月に県労働委員会へ斡旋の申し入れを行いました。新栄会側の一方的な理屈で不調に終わりました。

同年11月より、地労委へ不当労働行為の申し立て(地位確認)を行いました。新栄会側の不当労働行為についてはグレーゾーンではあるが、明確な確証がないとの理由で却下の命令が下りました。

今後の闘いを中労委へ異議の申し立て、地裁での裁判、労働審判かと悩みましたが、今年の4月より、小倉地裁で労働審判ができるということで闘いました。

今までは解決策を一切受け付け無かった新栄会側ですが、自分たちの過ちに気づいたのか?労働審判委員の案を受け入れるということになりました。

皆様方ご支援者のお力添えで解決にいたりましたことをご報告申し上げます。

又、ここまでの経緯につきましては、医労連、地区労連、各支援組織の皆様の支援以外にはほかならないと実感しています。

私1人では何もできなくて、多分悔しい、情けない思いをしながら愚痴で終わり、今も引きずりながら毎日を送っていることと思います。

皆様方には改めて、この場をおかりしまして、御礼とご報告をいたしたく思います。 以上

平成22年12月27日

森田 日出東

## 福原学園、行政裁判は上告せず!

福原学園は、自由ヶ丘高校教職員組合に対する不当労働行為の県労働委員会の救済を取り消す行政裁判をおこしていましたが、このたび、高裁の判決に従い上告をしませんでした。

### 福原学園 自由ヶ丘高教組に謝罪!!

### 高校職員室に謝罪文を掲示!!

### 掲示期間 12月16日(木)~12月29日(水)

平成22年12月16日(木)福原弘之理事長は、自由ヶ丘高等学校教職員組合に対する数々の不当労働行為について、書面で謝罪をしました。同じ内容の書面が、16日午前、高校職員室の管理職席の背後にある掲示板に、A2判(縦60センチメートル、横42センチメートル)の用紙で掲示しました。その後12時半に、本部職員3名が組合事務所に出席してこの掲示内容を記した文書を読み上げ、手交されました。今回の謝罪は、評価できます。今後は、学園にあるすべての組合に対し、校正・誠実な対応をとり、組合活動を保証するよう期待します。

### 高裁も自由ヶ丘高校井上校長等の不法行為(不当労働行為)を断罪!

今回の学園の謝罪の背景として、平成22年12月2日の福岡高裁の行政裁判の判決があります。高裁は、自由ヶ丘高校管理職が不当労働行為を行ったと認定した県労働委員会命令を基本的に認め、福原学園に謝罪を命じました。つまり、当時の組合活動の正当性が認められ、高校管理職による組合への行為は不法として断罪されたのです。

平成19年3月、本組合を結成しましたが、その結成の翌日から、本組合に対する当時の高校管理職の組合攻撃はすざまじいものでした。

当時の副校長の平氏は、前田先生に対し「おい、お前」「貴様、それでも教員か」と到底教育現場とは思えないような暴言の数々。職員朝礼で校長は、組合員に対する非難等を積極的に容認する「他に言うものはないか」という発言をしたり、組合への抗議署名に協力してほしいという職員の発言について「皆様方、よろしくお願いします」と署名活動について協力を要請したりしました。

このように、当時の管理職は、憲法に基本的人権と並んで保障されている労働組合の権利や言論の自由を抑圧する対応をとりました。また、福原理事長他、学園もこの対応を是正することなく、放置しました。彼らの権利意識の低さは、厳しく批判されるべきです。

高裁判決は、憲法で保障された労働組合の権利を侵害することは許されないことを示し、学園はこれに従いました。これは組合が、権利侵害を許さない立場から、毅然と異を唱えたからこそ勝ち取れた勝利です。民主的な学園や教育現場の構築は、組合を含む働く教職員や学生・生徒の権利が大切にされることが必要です。私たちは、これからも、民主的な職場構築に向け、教職員の権利を守るため活動を続けます。